

北島恵子のプレミアム “新緑さわやか”対談



プロフィール

(かわい たつあき) 1966年1月21日生まれ。愛知県出身。88年 (株)ドゥ・クレッシェンド入社、93年 (株)真誠入社。土日はプロの婚礼司会者として披露宴に携わる。98年、婚礼司会会社「南プラス」を設立、代表取締役社長に就任。2004年現会社の代表取締役として、現在に至る。自身で結婚式場運営に挑戦したいという思いが強くなり、2002年自社直営ウエディング会場をオープンした。

お金は二の次、出店場所探しに奔走

北島 河合社長は以前、婚礼司会者をされていたと聞きました。河合 友人に頼まれ結婚式の司会をするなかで、20代の頃、平日はサラリーマン、そして週末はプロの婚礼司会者として披露宴の舞台に立っていました。当時は8割方が女性の司会者でしたので、お声をかけていただく機会も多かったように思います。そして1998年4月、婚礼司会の会社を起業したのです。北島 事業はいかがでしたか？河合 多くのホテル・式場は既に契約している会社とガッチリ組んでいたため、正直、入る隙間もなく、なかなか契約ができず苦戦しました。このままではスタッフのためにもいけないと思い、以前からフツツとして

いたハウスウエディング会場の運営に挑戦しようとして決断しました。北島 資金的な面も含め、思い切った決断です。河合 その時はお金のことは二の次、まずは出店するための場所探しでした。場所は愛知県一宮市、グルメ通りと決めていました。私が生まれ育った場所に近く、土地勘があったからです。探し始めて数ヶ月後、喫茶店で住宅展示場内の家を壊すという話を聞き、「これは！」と閃いたのです。早速、オーナーに話

日本の中心に位置する愛知県。関西・関東にはない独自のアイデアで着々と市場開拓を進め、関西・関東圏を視野に入れ本格的に動き出した。その1つに愛知県一宮市を皮切りに、県内に8店舗、隣接する岐阜県に1店舗、そして来春には三重県に1店舗、着実に歩みで開拓している企業がある。それがプラス・河合達明社長だ。そこで今回は河合社長のこれまでの経緯、そして未来をお聞きした。

「社員を愛し、現場を愛する」こと第一に

株式会社プラス
代表取締役社長
河合達明氏

結婚司会業からハウスウエディング経営に躍進、勢い止まらず

当初は住宅の2階をチャペルに



▲プラスの起点となった愛知県一宮市内の「ルージュ・ブラン」

したところ、「ちょうど前日のテレビでハウスウエディングのニュースを観た」ということから、トントン拍子で話が進展、賃貸契約で展示場の家をハウスウエディング会場として開業できる運びとなりました。北島 料理はケータリング対応ですか。河合 レストランウエディングをベースとしたハウスウエディング展開を目指していましたので、厨房、シェフともに抱え、お料理を提供しました。もちろん、婚礼スタッフもすべて自社で教育した者たちです。“良い結婚式”を創造するためには人材、料理は重要な要素だからです。



1店舗平均約10名のスタッフで運営

北島 以後の出店も住宅展示会場で進めてこられたのですか？河合 いえ、以後は違います。土地は購入せず借地で、1パンケツト、1チャペルを展開しています。現在9店舗で年間1200組(100組～最大170組実績店あり)、平均単価360万円(店舗によっては平均400万円)です。また1店舗あたりのスタッフの人数は、ウエディングプランナー5～8名、厨房スタッフ5～7名、1店舗平均約10名のスタッフが働いています。北島 社員教育はどのようにされているのですか。河合 教育というよりも安心して生き生きと働ける企業文化を作ることが私の使命です。



▲身を乗りだして語る河合社長



本紙代表北島恵子

「社員を愛し、現場を愛する」ことを第一としています。週末はどこかの結婚式場を見守り、時には司会者として登壇することもあります。また「めでたや」というもちつき演劇の演出など、現場に入り込んで、皆で、楽しく、創り上げていくことに努めています。また結婚式を挙げられた方を対象とした夏祭りや、パートナー企業の方々には厨房でカレーを提供したりなど、常に交流ができる機会を設けています。北島 まさに現場主義ですね。ワイワイ・ガヤガヤするなかで、結果的にお客様に喜ばれる、心のこもった結婚式を提供するという河合社長の思いが浸透しているのでしょうか。河合 1チャペル、1パンケツトのスタイルで、都心進出を実現させたいと思います。まずは年商50億円を目標に、スタッフとともに着実に進めていくことです。

★会社概要

企業名：株式会社プラス 本社所在地：愛知県一宮市森本1-23-1 設立：平成10年4月 代表者：代表取締役社長 河合達明 事業：ハウスウエディング事業/ハウスウエディング軒数：9軒(豊橋、岡崎、豊田、安城、常滑、日進、名古屋、一宮、羽島)、来春1月10店舗目(鈴鹿市内)に開業。演出事業：「めでたや」(お囃子・太鼓の音囃りやかに威勢良〜、もちをつきあけるサービス)、司会者派遣業務(話し方教室なども受注)。

施設概要

厨房はオープンキッチン、カップルの厨房出入りも可能

施設名	所在地	挙式場数	会場数	特長
ルージュアルダン	愛知県豊橋市	1	1	丘の上に建ち、リゾートテイストをふんだんに取り入れた緑溢れるガーデンとの調和
ブルー：ブラン	愛知県岡崎市	1	1	広大なガーデンとそこに建つチャペル、開放的なパンケツトがポイント
アーjentパルム	愛知県豊田市	1	1	新郎新婦が車に乗ってゲートをくぐる演出も可能、スタイリッシュな演出を提案
ブラン：ページ	愛知県安城市	1	1	パンケツト正面に位置するアクアステージと青空とのコントラストが魅力的なガーデン
マンダリンポルト	愛知県常滑市	1	1	絶好のロケーション恵まれた、リゾート感覚溢れた海辺の別荘。オーシャンビュー
オレンジ・パール	愛知県日進市	1	1	南仏オーベルジュのイメージ漂う優しい表情で迎えてくれるエントランスでひきつけ
ブルーレマン自由が丘	愛知県名古屋市	1	1	高窓から自然光が差し込み、洗練された雰囲気にもまれるパンケツトスペース
ルージュ・ブラン	愛知県一宮市	1	1	住宅展示場の一軒家を改装したプラスの第1号店。アットホームな雰囲気に溢れる
ヴェールノアール	岐阜県羽島市	1	1	正面のガラスの向こうに流れる滝と、しっとりとした竹林が静寂と癒しをもたらしている
ミエルクローチェ	三重県鈴鹿市	1	1	来春1月開業、三重初。プラス10店舗目。「最高の笑顔を第一」と中條麻美支配人

施設名にフランス語の色をつけているのが特長だ。「オレンジ」・「パール」緑、「ブラン」白、「ブルー」水色、「ルージュ」赤、「ページ」フレンチページなどだ。また厨房はオープンキッチンとし、下見の際にも厨房に出入りできるようにするなど、親しみ感のある雰囲気を作りだしている。パートナー企業にも開放している。ほだだ。さらに中庭など広いスペースを保有しているのもプラスの施設の特長だ。

新規オープン 2011年1月、三重県鈴鹿市に10店舗目「ミエルクローチェ」開業

2011年1月、三重県鈴鹿市に「ミエルクローチェ」を開業する。白子ショッピングタウンサンズ2階に開業準備室を設け、今春4月よりサロンをオープンした。近鉄名古屋線「白子駅」から徒歩5分の立地を生かし、市内及び津市、四日市市、松阪市など近隣の地域も商圏に市場開拓に挑む。市内に限られた商圏ではないことと、隣接する白子ショッピングタウンの集客力を生かした販促活動ができることから、三重県初の進出となった。



▲開放的なガーデンを持つ

PRに向け7月に「プチ試食体験」や「特製デザート試食体験」を要予約、無料にてサービスする。オープニングプランとして会場費やドレスなど、総額25万円割引も用意した。